

No.65  
シリーズ 教育の窓

夢・志を育む

八百津町教育委員会

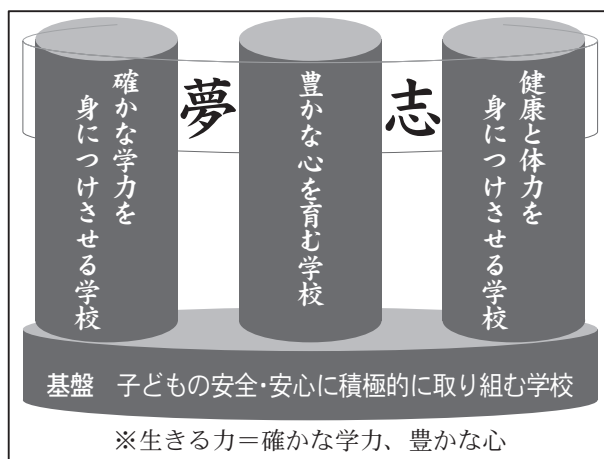
1 はじめに

4月当初の小学校の分団登校。いつもより歩くスピードがゆっくりです。分団長さんに「どうしてこんなにゆっくり歩くの？」と聞くと、「1年生の子に合わせています。」とのこと。よく見ていると、先頭の方分団長さんは、何回も後ろを見ながら1年生の子たちに気を配っています。相手の立場に立つて考え行動できる子どもたちが確実に育ってきています。人道教育の広まりがこんなところにも表れてきています。

2 学校教育

私たちは、『夢・志』をもってたくましく生き抜いていく子ども、地域や社会の発展に貢献する子どもを育成したいと考えています。一人ひとりの子どもは、社会の中で何らかの役割を期待されて生まれてきたかけがえのない存在です。自分自身のた

めだけでなく、社会の一員としての役割と責任を果たすための『夢・志』をもたせたいと思います。

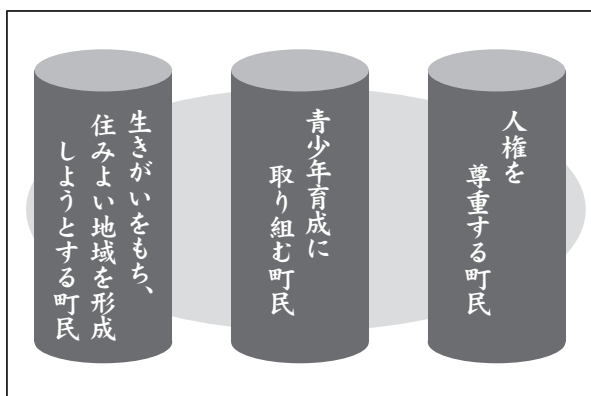


子どもたちは、『夢・志』を持つことで、主体的に学ぶ意義や、意味を考えるようになります。『将来こうありたい。』ということを確認にすることで、意欲的に『生きる力』を、身に付けようとしています。『夢・志』はひとりよがりなものでなく、周りの人との関わりの中で見つめてほしいものであり、本町の大切に行っている人道教育の推進も欠かせないものです。また『生きる力』を身に付けることが、『夢・志』を一層明確にします。

3 社会教育

そのために、教職員の資質向上の充実、研修校指定校制度の実施、きめ細かな指導を行うための少人数指導・TT指導の推進などに、力を入れていきたいと思っています。  
※TT(チームティーチング)指導とは、複数の教師が協力して授業を行う指導方法のこと。

私たちはすべての町民の方に、生きがいのある充実した生活を送っていただくことを願っています。  
内閣府が「今後の生活において、心の豊かさや物の豊かさのどちらを重視しますか」などの調査を行いました。



その調査により「心の豊かさに重きを置きたい」とする割合が60パーセント以上ありました。「物質的な面で、生活を豊かにすることに重きを置きたい」の割合を大きく上回っています。『1学習 1スポーツの推進』を重点とし、だれもが生涯にわたって、気軽にスポーツ、そして、学習・芸術・文化などに親しめる環境づくりをしていきたいと考えます。また差別や偏見のない、真に人権が尊重される地域を目指すとともに、子どもたちを育てることができる地域社会になればと思います。

4 おわりに

分団登校の子どもたちに、挨拶の声をかけていただく地域の方々、分団登校を見届けるボランティアや保護者の方々…。多くの方の支えがあつて子どもたちは育っていきます。今年度もよろしく願いいたします。

